

令和3年度若年技能者人材育成支援等事業実施状況報告

[青森県技能振興コーナー]  
令和3年12月22日現在

(地域における技能振興事業)

区分	実施計画	実施状況
1.技能五輪全国大会の予選の実施等	<p>(1) 技能五輪全国大会の予選の実施 県内の若手料理人等を対象に、県予選を行い、選手選抜を行うとともに、若手技能者の技能向上及び育成促進を図る。 実施職種: 日本料理 参加選手数: 10名 会場: 青森山田高等学校</p> <p>(2) 技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会への参加支援の実施 それぞれの大会に参加する選手・指導者の旅費及び工具の運搬費を援助し、中小企業、教育機関の参加を促進する。 技能五輪全国大会: 選手5名、指導者5名 若年者ものづくり競技大会: 選手10名、指導者8名</p>	<p>令和4年2月20日(日)に開催予定。</p> <p>・若年者ものづくり競技大会 旅費援助: 選手4名、指導者2名 工具運搬援助: 1校</p> <p>・技能五輪全国大会 旅費援助: 選手2名、指導者1名</p>
2.ものづくりの魅力、技能者の持つ技能を伝えるための取組	<p>(1) ものづくりマイスター、ITマスター及びそれ以外の熟練技能者の活用</p> <p>① ものづくりフェアの開催 ものづくりマイスター、ITマスター等による作品展示及び実演、ものづくり体験等を通じて、広く一般に技能の重要性・必要性への理解促進を図る。 開催時期: 令和3年11月 場所: 八戸市「八戸ポータルミュージアムはっち」 集客予定人数: 約1,000名</p> <p>② ものづくりマイスター以外の熟練技能者の派遣 ものづくりマイスター認定職種以外に、講義、実技指導の要望があった場合は、限定されている職種の範囲内で、学校等への派遣を行う。</p> <p>(2) 技能競技大会展、技能士展の実施 ブロックごとのイベントに際しては、センター、幹事県を始め、各コーナーと協力して取り組む。</p> <p>(3) 「地域発! いいもの」応援事業の実施 県内のものづくり関連企業等へ募集要項を送付するとともに事業の周知並びに情報収集を行い、応募に関する手続き等を行う。</p> <p>(4) グッドスキルマーク事業の実施 県内のものづくり関連企業等へ募集要項を送付するとともに、当協会ホームページに掲載し、事業の周知を図る。</p> <p>(5) 卓越した技能者(現代の名工)の表彰制度の紹介コンテンツの作成支援 令和2年度及び3年度の被表彰者に対して取材を行い、取材結果をセンターに提出する。</p>	<p>令和3年11月27日(土)・28(日)に八戸市「八戸ポータルミュージアムはっち」で開催した。 ・来場者: 800名 ・ものづくり体験者数: 延750名(12職種)</p> <p>1月までの状況: 2校(5回)69名(2職種)</p> <p>センターからの依頼で、11月27日(土)・28日(日)開催の「ものづくりフェア」で、フラワーアレンジメント作品展示並びに体験キットを配布した。</p> <p>応募がなかった。</p> <p>応募がなかった。</p> <p>令和2年度2名の被表彰者を取材し、報告を行った。 令和3年度3名については1月中旬に提出予定。</p>

(ものづくりマイスター等の認定、登録に関する業務)

区分	実施計画	実施状況
1.ものづくりマイスター等の開拓	<p>(1) ものづくりマイスターについて ものづくりマイスター認定者の拡大が必要な職種や地域を中心に、関係団体及び事業所を訪問し改めて事業の趣旨説明を行い、ものづくりマイスター認定者の拡大を図る。</p> <p>(2) ITマスターについて 情報処理関連会社等を訪問し、情報収集を行い認定者の開拓を行う。</p> <p>(3) テックマスターについて 主に機械加工職種の数値制御系作業の技能士の取得を奨励している企業を訪問し、ITを活用して生産性向上等に取り組んでいる情報の収集に努め、認定者の拡大を図る。</p>	<p>12月までの認定状況 ものづくりマイスター 11名(6職種)</p>
2.ものづくりマイスター等に対する研修	<p>ものづくりマイスター等の指導力向上を図るため、センターが準備する教材を活用して指導技法等講習を実施する。</p> <p>また、センター主催の研修等について、関係職種に該当するものづくりマイスターを派遣する。</p>	<p>センター主催の研修の参加予定なし</p>

(ものづくりマイスター等の活用に係る業務)

区分	実施計画	実施状況
1.若年技能者の人材育成に係る相談・援助等	<p>教育訓練機関、職種別団体、事業所を対象にもものづくりマイスター等の派遣希望調査を行い、ニーズの把握に努め、実技指導等のコーディネートを行う。</p> <p>また、技能検定試験等を活用した若年技能者育成等について相談、情報提供等を行う。</p>	<p>・実技指導:教育訓練施設26校に調査した結果、高校10校から依頼があった。</p> <p>・魅力講座:小・中学校へ調査した結果、小学校6校、中学校4校、高等支援学校から依頼があった。</p>
2.ものづくりマイスター等の派遣による指導の実施	<p>上記派遣希望調査の回答に基づき、ものづくりマイスター等派遣について調整を行い、指導を実施する。</p>	<p>2月までの状況</p> <p>・ものづくりマイスター派遣:10校(88回) 1,182名(12職種)</p> <p>・ITマスター派遣:2校(3回)106名(1職種)</p>
3.「目指せマイスター」プロジェクト	<p>(1) 「ものづくりの魅力」発信 県教育庁学校教育課と連携のもと、小中学校に、ものづくりマイスターを派遣し、講義、ものづくり体験を通じて、技能の魅力、技能者の社会での役割について授業を行う。</p> <p>参加対象:児童・生徒、保護者、教師。</p> <p>(2) 「ITの魅力」発信 県教育庁学校教育課と連携しながら、小中学校等に、ITマスターを派遣し、講義及び実技体験を通して、情報技術に関する興味を喚起する。</p> <p>(3) 若者に対する「ものづくりの魅力」発信 県内の若者サポートステーションからの要請に基づき、指導可能なものづくりマイスター等の情報提供を行い、要望があった場合に、派遣を行う。</p>	<p>2月までの状況</p> <p>小学校(5校)児童130名、保護者18名、 中学校(4校)242名、高等支援学校6名、 計396名(8職種)</p> <p>12月までの状況</p> <p>小学校(1校)14名(1職種)</p>

(地方公共団体、経済団体等との連携会議の設置・運営)

区分	実施計画	実施状況
1. 連携会議の設置	構成メンバーは、青森労働局、高齢・障害・求職者雇用支援機構青森支部青森職業能力開発促進センター、青森県労政・能力開発課、青森県教育庁学校教育課、青森県高等学校長協会工業部会、青森県工業会、青森県技能士会とし、第1四半期に事業計画の説明及び意見交換、第3四半期に事業進捗状況の説明及び次年度事業計画策定に向けた意見交換を行う。	新型コロナウイルス感染防止対策により、集合開催を取りやめ、資料を配付した。 ・第1回(6月16日送付) 内容: 令和3年度事業実施計画及び進捗状況 ・第2回(12月22日送付) 内容: 令和3年度事業実施状況報告
2. 連携会議の開催回数	2回	2回

(全国斉一的な事業展開)

区分	実施計画	実施状況
1. 全国会議の開催等によるセンター・コーナー間の連携の強化等	センターとコーナーが密接に連携し、円滑に全国斉一的な事業展開を図るため、全国会議やブロック会議の開催等により、業務方針確認・徹底、実務ノウハウの向上・共有等を図る。	・全国会議 4月30日(金) 資料配付方式 5月20日(木) WEB(Zoom)方式(欠席) ・ブロック会議 10月26日(火) WEB(Zoom)方式(出席)